

令和7年度事業報告書（公益目的事業の実施状況）

1 教育関係

岡山県をはじめ、中国四国における酪農業の健全な発展を図るため、企業的酪農経営に関する知識を授けるとともに、21世紀の酪農経営を担う人材養成を旨とした教育方針に基づき、下記のとおり実践教育を実施した。

(1) 教育実績

- ・講義及び実習実績……………（別紙1）
- ・第60期生及び第61期生就学状況……………（別紙2）
- ・第60期生卒業生名簿及び第61期生学生名簿……………（別紙3）
- ・令和8年度第62期生入学許可者数及び入学者名簿……………（別紙4）
- ・出身県別卒業生及び在校生数……………（別紙5）
- ・校外実務研修（令和7年4月20日～11月22日）研修農家数：51農場
- ・酪農関係各種施設等の見学（鏡野CS、生乳検査センター、大山乳業、岡山県畜産研究所）

(2) 専門教育・講習会・酪農フィールド研修等

- ・家畜人工授精講習会：令和7年11月25日～12月24日（学生12名）
- ・受精卵移植技術講習会
体内：令和8年1月7～2月2日（学生14名）
- ・牛削蹄師講習会：令和7年12月9～10日（学生4名）
- ・酪農ヘルパー専門技術員養成研修会 令和7年11月10～21日
（一般3名+学生3名）
- ・フォークリフト技能講習：令和7年10月9日、23日（学生8名）
- ・車両系建設機械等技能講習：令和7年10月28～29日、11月11日（学生9名）
- ・酪農フィールド研修：
 - 全国酪農業協同組合連合会新人職員 令和7年4月17日～6月11日 21名
 - おかやま酪農業協同組合、JA全農くみあい飼料
令和7年7月28～8月1日 5名
- 中央畜産会
 - ①令和7年9月28～10月10日 11名
 - ②令和7年11月9日～21日 8名
 - 計19名
- オハヨー乳業
 - ①令和7年6月30～7月4日 8名
 - ②令和7年7月7～11日 9名
 - ③令和7年7月14～18日 11名
 - ④令和7年8月27～29日 11名
 - ⑤令和7年9月3～5日 12名
 - ⑥令和7年9月8～10日 12名
 - 計63名

・資格取得状況

資格の種類	受講者数	合格者数	合格率	備考
家畜人工授精師講習会	12人	6人	50%	合格証
家畜体内受精卵移植講習会	14人	12人	80%	合格証
2級認定牛削蹄師認定講習会・認定試験	4人	4人	100%	合格証
フォークリフト運転技能講習	8人	8人	100%	修了証
車両系建設機械（整地等）技能講習	9人	9人	100%	修了証
大型特殊自動車運転免許（農耕限定）	1人	1人	100%	免許証
”（限定解除）	7人	7人	100%	免許証
牽引自動車運転免許（農耕限定）	3人	3人	100%	免許証

※ 本校の学生のみ記載

(3) 農場HACCP

令和5年1月に両牧場を合わせ附属農場として更新認証され、その手法に基づいて、消費者の求める安全で高品質な生乳を継続的に生産し、学生等が生産段階における食品の安全確保に係る方法や法令等を学ぶ教育施設としてレベルアップを図っている。

令和7年8月に全国の農業高校、農業大学校等の農業教育機関を対象とした「農場HACCPの指導に関する研修会」を本校を会場として（一社）中央畜産会主催で開催した。

(4) バイオガス利活用システム（メタン発酵施設）の整備

酪農においても資源循環を基本とした環境調和型の経営が求められており、将来の酪農・畜産を担う人材を育成する本校においてメタン発酵施設整備に向けた基本設計を策定した。今後は、令和7年度に策定した基本設計に基づき、真庭市が事業主体となって、令和8、9年度の2ヶ年でメタン発酵施設を整備する（本格稼働は、令和10年度を予定）

(5) 学校評価

学校教育法及び同施行規則の改正により、専修学校においても学校評価制度に関する規定が設けられたことから、本校でも、教育の質の改善等を目的に取組を進めた。

- ・中期運営計画を踏まえた、学校の重点目標の設定
学生の確保（50名）、酪農への就業率の確保（100%）
- ・学生・卒業生によるアンケートの実施（60、61期生 回収：22人）
- ・アンケート結果を踏まえた具体の目標設定
教育カリキュラムや学生支援の充実及び運営体制の強化等
- ・職員研修の実施
- ・職員の自己評価の実施（13人）
- ・学校関係者評価の実施（R8.5.7）

(6) その他

- ・酪農教育ファーム認証牧場として、消費者との交流を通じて酪農に対する理解醸成活動に取り組んだ。
 - ①搾乳体験、牧場見学等の実施（学校児童・生徒等 323名）
 - ②おかやまミルクフェア2025へ参加（R7.11.1 岡山市）
等身大牛模型による疑似搾乳体験補助等
- ・肉用牛関係カリキュラムの充実
岡山県立農大畜産課程の廃止に伴い肉用牛関係の新たな講座を実施した。
（肉用牛管理学（登録審査、経営演習）、飼料計算演習、施設視察）
- ・畜産共進会への出品を通じ、牛の見方、審査の知識、リード技術、牛の管理（牛洗い、ブラッシング、毛刈り、削蹄、調教）等の実務技術の向上に取り組んだ。
 - ①第4回西日本B&Wショウへ5頭出品（R7.4.13）
クラスリザーブチャンピオン2頭
 - ②第80回岡山県畜産共進会へ9頭出品（R7.9.26）
ホルスタイン種リザーブチャンピオン1頭、クラスチャンピオン1頭、クラスリザーブチャンピオン1頭
ジャージー種ジュニアリザーブチャンピオン1頭、クラスリザーブチャンピオン2頭
 - ③第16回全日本ホルスタイン共進会へ2頭出品（R7.10.25～26）
ホルスタイン種第1部1等5席、ジャージー種第19部1等3席
 - ④第9回おかやまB&Wショウへ4頭出品（R8.3.21）
ジュニアチャンピオン1頭、クラスチャンピオン2頭

- ・高度な牛削蹄技術の見学
令和7年9月24日に本校を会場として中国四国地区牛削蹄競技大会が開催され、学生達はプロによる高度な削蹄技術を学んだ。
- ・各種発表会、コンクール等への参加
第19回全農学生「酪農の夢」コンクール最優秀賞 (R7. 11. 21 東京都)
61期生 前原 可奈「自分が成長するために」
- ・肉用牛経営についての理解促進
令和7年10月20日に酪農大学の1年生及び瀬戸南高等学校の1年生を対象とした「和牛担い手候補へのリアルな情報発信事業に係る出前授業(肉用牛経営の魅力)」を本校を会場として(一社)岡山県畜産協会主催により開催し、肉用牛経営の魅力について学んだ。

・就学資金の確保支援

①就農準備資金(旧農業次世代人材投資事業)

※ 全国型教育機関として全国農業会議所から承認

60期生(卒業)	61期生(2年)	合計
8名	2名	10名

②奨学金

※ 専修学校化により、受給可能

60期生(卒業)	61期生(2年)	合計
7名	1名	8名

③高等教育の修学支援新制度

※令和6年8月に認証(入学金・授業料の減免、給付型奨学金)

60期生(卒業)	61期生(2年)	合計
9名	8名	17名

2 生産関係

令和7年1月14日付けで岡山県真庭市から農業経営改善計画の認定(更新)を受け、認定農業者を取得した。

附属第1牧場(ホルスタイン種)及び附属第2牧場(ジャージー種)で牛乳の生産実習を行うとともに農協へ売払委託を行った。

・生乳生産量(売払金額)・・・1,117t(182,375千円)

第1牧場:513t(77,594千円)

第2牧場:604t(104,781千円)

3 決算関係

正味財産増減計算書で、正味財産期末残高は263,857,078円となった。

4 令和7年度事業報告附属明細書

令和7年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

5 法人の運営体制の充実を図るための取組

(1) 大学の目的及び事業を整理して事業活動を中長期的な観点から推進するために、社会・経済情勢を踏まえ、5カ年の第Ⅲ期中期運営計画(令和6年度～令和11年度)を策定し、計画に即して運営体制の充実強化を図っている。さらに事業の実施状況について自己評価と学校関係者による外部評価を行っている。

(2) 公益法人会計についての適切な対応を図るため、公益法人を専門とする会計事務所の会計監査を毎月受けている。また、令和7年度には岡山県の監査委員による監査を受けた。